

# SDGsと 地域の多文化共生



SDGs(エスディーゼズ)とは国連で定めた持続可能な開発目標のこと。17のゴールと169のターゲットからなる2030年に向けた行動計画は、地球規模の取り組みとしてすべての国に対応が求められています。

今回、当協会ではSDGsと地域の多文化共生について考えるオンライン講座を開催します。SDGs-SWY共同代表の高木さんから、このグローバルな枠組みに対して地域レベルでSDGsをどうとらえればいいのか、お話いただきます。また、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」を目指して途上国と日本の地域コミュニティの学びあいによるまちづくりをすすめるNGO団体、野毛坂グローバル代表の奥井さんから地域コミュニティの活動を通して見える市民とSDGsの関係についてお話いただきます。この講座を通してSDGsの視点から多文化共生の地域づくりについて考えます。

日時

2020年11月28日(土) 10:00~12:00  
「Zoom」によるオンライン開催

※お申込みいただいた方に前日までに招待URLを送ります。

講師



**高木 超** (SDGs-SWY共同代表/慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教)

NPO等を経て、2012年から大和市役所の職員として住民協働等を担当。17年9月に退職し、渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体におけるSDGsのローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所(UNITAR)とクレアモント大学院大学が共催する「SDGsと評価に関するリーダーシップ研修」を日本人で初めて修了。著書に『SDGs×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』(学芸出版社)『まちの未来を描く!自治体のSDGs』(学陽書房)。



**奥井 利幸** (野毛坂グローバル代表/シニアコンサルタント)

ソーシャルビジネスコンサルタント、開発コンサルタント。国際協力機構(JICA)専門家として、タイ、ミャンマーをはじめアジア14カ国で、計21年間にわたり社会的弱者支援、コミュニティ開発支援に取り組む。2016年、日本に帰国後、市民団体野毛坂グローバルを設立「グローバル×ローカル」をきっかけ横浜・野毛山でローカルにコミュニティスペース運営準備、街づくりを実践するとともに国際協力・交流を行う。市民セクターよこはま会員、横浜プランナーズネットワーク会員。

問合せ・申込み

申し込みフォーム  
こちらから



<https://forms.gle/W71CVdegVBLvBxd5A>

(公財)大和市国際化協会

大和市深見西1-3-17  
市民活動拠点ベテルギウス北館1階

TEL: 046-265-6051  
Email: pal@yamato-kokusai.or.jp